

# いくぞう 通信

議会レポート

No.20号

2019年3月議会報告

後援会事務所 栃木市岩舟町古江 792  
TEL・fax 0282-55-8776  
携帯 090-9010-7042  
Eメール i-hary@cc9.ne.jp

あなたの相談相手、  
気軽にお電話ください。  
栃木市議会議員 針谷育造

2月22日から3月26日までの33日間、3月議会が開かれ、平成31年度一般会計、特別会計予算、補正予算、条例制定16、工事請負契約1、指定管理者の指定3、教育委員1名、固定資

産評価委員4名、人権擁護委員3名を可決し閉会した。また陳情1件は採択となった。



**給食費の一部無料化を修正し、  
月1000円支給しない  
財源確保の見通しのない無料化は  
議会として責任もって議決できない**

## 争点となった給食費の無料問題・・・事実上の否決理由

- 1、現在と将来の財政状況で無料化は極めて難しく、子どもの増加にむすびつかない。
- 2、財源の見通しが無い市長公約で、議会として責任ある議決ができない。
- 3、恒久財源と言いながら不安定な財源しか示されず、市長が信用できない。
- 4、財政再建を公約で言いながら、より厳しくなるような無料化政策をとるべきでない
- 5、給食費無料化をするために、福祉、教育、補助金等を犠牲にやるべきでない。
- 6、公約に掲げた無料化は全額無料化であり、一部負担は公約違反になる。
- 7、公約は財政的な裏付けが無く、耳触りの良い給食無料化であったと思われる。
- 8、給食無料化より、給食調理場の整備計画を優先し、安全安心の給食を出すべきである。  
2018から25年までに5施設、36億円が見込まれ、年額4億円5000万を優先し、  
無料化より施設整備をまずやるべきである。

## 一般質問

### 1、市長公約について

**針谷**「市長就任後初めての予算であり然  
選挙公約が反映されたものでなければな  
らない。①、小中学校の給食の無料化、  
②、市長報酬30%削減、 ③、都市計

画税の見直し、④メディカルセンターに  
産科の開設、⑤文化芸術館の見直し等を  
公約に当選した。給食無料化の方法に  
ついて伺う。

#### ①給食の無料化(1,000円支給)1億2,600万円必要

**市長**「第一段階として、2年間は小学生  
4300円を3300円に、中学生5100円を  
4100円にする。年間1億2600万円の財  
源が必要である。その為には、市長報酬  
で500万円、芸術館見直しで5,130  
万円、太陽光発電補助金削減で1,7

00万円、ふるさと納税で1,150  
万円、人件費、時間外手当分2,650  
万円、こども未来基金から1,470万  
円合計、1億2600万円となる。」恒久  
財源で手当てした???

#### 恒久財源には程遠い、不安定なものでないのか?

**針谷**「これらはどれも不安定な財源で  
あり、恒久財源には当たらない。職員の  
人件費の削減を挙げているが、公約実

現の責任を職員に負わせるべきでない。  
財源の当てのない無責任な公約と言わ  
れても仕方ない。」

**針谷**…任期中に無料化できないとすれば  
公約訂正をすべきでないか?

**市長**…任期中に実現したいが、財源確保が難しい??

公約訂正は出来ない答弁である。完全  
無料化には6億7000万円必要。任期  
中に確保は不可能だとすれば1000  
円支給の公約変更しかない。しかし、  
それも出来ないとすれば、公約違反と  
言われても仕方ない。



整備予定の岩舟中給食室

#### ②産科の開設…産科検討会で努力……早期は難しい

**市長**「早期に開設するのは厳しい。県の産  
科医助成支援など関係機関と協議をして  
実現に努めたい。また市民アンケートなど

でその現状や子育て世代の考えを聞き  
たい」

### ③都市計画税の見直しは…当面計画はない

部長「道路、公園、区画整理、下水業等に61、6億円をつかっている。収入は7,4億円で有効に使っている。

税の見直しは考えていない」公約違反??でないのか。

## 2. 水道ビジョンについて

### 水道料金値上げは認めない!



針谷「50年、100年後を見据えた水道の理想像を示し、位置づけでは50年の事業方針、2019年から2028年の10年間の施設計画、財政計画となっている。正

直このような50年、100年の長期の考え方がわからないことを述べて、質問します。中でも問題は水道料金値上げが書かれていることである」

### 県南地域の水道料金の安い比較 使用料・20<sup>m</sup>、口径・13mm

上位はすべて地下水のみの水道が安い…のです

1位足利2030円、2位佐野2270円、**3位、栃木2295円**、下野2538円、

### 10%から30%の値上げが予定されていが……認められない!

針谷「厚労省の指導ではビジョンには値上げは書かれていない。しかし総務省の公営企業の経営戦略を理由に書き

込んでいる。値上げは議会の議決事項であり、議会軽視が疑われる。」

足利、佐野、下野市には値上げが示されていない。なぜビジョンに値上げが書かれているのか。

部長「ここに書き込んだから値上げが決まるわけではない。議会で決定する事

項なので、値上げの先取りではないことを理解してもらいたい。10%から30%はあくまでも経営健全化のための試算です」

### 栃木市の水は余っている……人口減少でますます余る!

針谷「どれくらい余っているのか？」

部長「給水可能量 70,700<sup>m</sup>、  
最大日量 65,400<sup>m</sup>、  
余裕水量 5,300<sup>m</sup>

(約15,000人分で人口が増加?して

も大丈夫・・(針谷試算)、人口減少は当たり前の時に、これ以上の水はいらない

## 県南地域に地下水保全対策会議を作れないか

**針谷**「県南地域は日光、足尾連山の伏流水としてその恩恵を受けている。水道料金の安さが市民生活に反映されている。過去の質問で検討するとの回答をもらって

いるが具体的に検討したのか？」「熊本県では県と11市町ですでに「熊本地下水保全対策会を作り活動している」

**市長**「地下水の保全は重要であり安全、安定した地下水保全条例制定も含めて検討する。

熊本の例を参考に、県、関係市町で協議する。」

**針谷**「栃木の水をどう考えているのか？」

**市長**「栃木の水は「宝」であり、守り、育てなければならない！」

「市民生活の重要なインフラであり、次の世代につなげなくてはならない、美味

しい水は安全な暮らしの基礎であり、これを守り、育てていかなければならない」

### 3. 栃木市歴史的風致維持向上計画について

#### 栃木市内で・・・村松神社周辺と嘉右衛門町を指定

栃木市には歴史、文化遺産が多数あります。中でも嘉右衛門町は、2011年伝統的建造物群保存地区に指定され、住民と協力しながらその保存、活用に努めてきました。

岩舟地域の村松神社は、646年(大化2年)の創建と伝えられている。本殿は

**針谷**「事業計画、予算、地区関係者の説明、受け入れ体制、責任と負担、市の支援体制について伺う」

**部長**「計画は、2019年から2028年の10年間です。予算は、国から補助率2分の1で配分される。説明は、地区の意向調査等をしながら説明する。地区の受け入れ体制は、地域会議等と話し合いながら進める。地域の責任、負担は無い。市の支援は、当然ある。例えば、修理事業、

1553年(天文22年)の室町後期の建物で、三間社春日造、屋根は檜皮葺で1908年(明治41年)国の旧国宝に指定され、1950年(昭和25年)重要文化財の指定を受けた。



村松神社社殿

電柱の地下埋設事業など地域の皆さんと協議しながら進める。

村松神社には大祭があり神楽が舞われている。極めて貴重で、この保存は重要であり、後世に伝えていきたい。